

地域別ワークショップニュース

第3回 取り組みを考える...目標の実現に向けたプロジェクト

関心のある目標別にノミネートしてグループに分かれました。
目標の実現に向けて取り組むことは何か、日頃考えているアイデアや現在行っていることをカードに記入し、グループ内で取り組みのアイデアを伝え合いながら、同じような考え方の取り組みをまとめて「プロジェクト」というフレーズでタイトルをつけました。



『水辺のきれいなごみのない美しいまち』
を目指して、
ゴミ清掃プロジェクト
ゴミ減量化プロジェクト
ゴミ監視パトロール
逆転活用プロジェクト
下水道整備計画

『魅力あるブランドにあふれ、活気あるまち』
を目指して、
千丁宣伝し隊
千丁よび隊（呼・予備）
千丁の達人づくり
企業誘致
千丁のフェロモン



『心豊かな人が生まれ、歴史と文化が香るまち』
を目指して、
千丁学伝承プロジェクト
心を育てるプロジェクト
千丁安心安全プロジェクト
イグサPRプロジェクト
生きがい発表プロジェクト



『みんなが健康で生きがいをもって
生き生きと暮らせるまち』
を目指して、
みんなで楽しく健康づくりプロジェクト
みんなで「寺子屋」プロジェクト
生きがいプロジェクト



合併後、新たな八代市としてスタートするため、保健福祉、教育文化、観光や産業の活性化など、全ての分野にわたる八代市の今後のまちづくり全体の基本的な指針となる「総合計画」の策定にあたって、市民生活の実感から考えられた意見を反映していくことを目的にワークショップを開催しました。
今回、3回のワークショップの結果の概要をまとめ、皆さんにお知らせしたいと思います。

地域別ワークショップの構成

第1回

「現状を知る」9月5日（火）
ワークショップの開催趣旨
地域の通知表づくり

第2回

「想いを語る」9月26日（火）
地域の重点課題
まちづくりの目標

第3回

「取り組みを考える」10月17日（火）
目標の実現に向けた取り組み



お問合せ先 八代市企画調整課 電話：33-4111 FAX：32-8944

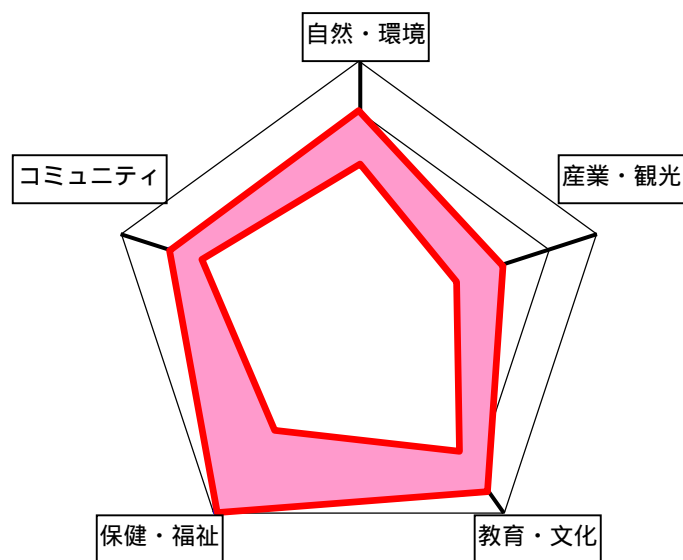
地域別ワークショップや総合計画の検討経過は、ホームページでもお知らせしています。
また、市政に関する意見や提案なども募集していますので、どうぞご覧下さい。

URL：http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/

第1回 現状を知る...地域の通知表づくり

地域の魅力や問題点を知り合うことを目的に、「自然・環境」「産業」「教育・文化」「医療・福祉」「コミュニティ」の5項目を5段階評価しました。

その点数になった理由を「良い点」と「悪い点」で書き分けながら、地域の状況について情報を交換し、改めて地域のことに気づかされました。



「産業・観光」の評価は低いものの、全体的に評価は高いようです。

「自然・環境」は、緑の豊かさが評価されていますが、河川臭やごみなどが問題となっています。

○「産業・観光」は、農業（イグサ）の低迷と目玉となる観光名所不足が課題としてあげられています。

「教育・文化・歴史」は、施設の充実が評価されていますが、その利用方法などに課題を抱えています。

「保健・福祉」は、評価点数に大きな差がみられます。施設の充実があげられる一方、自己負担の増加が評価に影響しています。

「コミュニティ」は、活発な地域活動が評価されていますが、新旧住民の交流が課題となっています。



第2回 想いを語る...地域の重点課題とまちづくりの目標

あらかじめ設定した26個の課題から地域の重要な課題3つを選び出し、その理由と共にカードに記入、順番をつけました。個人個人で選んだ3つの重要な課題をグループ内で伝え合い、同じ様な考え方のカードをまとめました。

まとめられた課題をみながら、まちづくりの目標になるようにタイトルづけを行いました。

課題	千丁
1.川や海のきれいな水辺の自然環境を守り育むべきだ	6
2.森林などの豊かな緑の自然環境を守り育むべきだ	0
3.公害の抑制、ごみの減量化など、地球環境に配慮した循環型の社会を形成すべきだ	13
4.農産物のブランド化やツーリズム、地産地消などにより農林水産業を活性化すべきだ	14
5.担い手の育成をはじめ、農林水産業の経営基盤の強化と生産基盤の整備を進めるべきだ	5
6.新幹線や高速道路など、広域交通網を活かした九州の物流拠点を形成すべきだ	1
7.新技術や生産技術の向上により工業を活性化すべきだ	4
8.企業誘致や地場産業の振興などにより雇用の場を創出すべきだ	12
9.魅力と賑わいのある中心市街地、商店街づくりを進めるべきだ	4
10.多様で豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、魅力ある観光振興を進めるべきだ	1
11.道路の整備やバスや鉄道などの公共交通の利便性を高めるべきだ	1
12.家庭、地域、学校が一体となって、子どもたちの豊かな心を育む教育を進めるべきだ	8
13.子どもから高齢者まで誰もが気軽に生涯学習やスポーツを行う場や機会を充実すべきだ	16
14.歴史や文化を大切に守り受け継ぎ、活用すべきだ	8
15.子育てと仕事の両立を支えるなど、安心して子育てできる環境を整えるべきだ	9
16.食育、スポーツなどを通じて、誰もが健康で長生きできる社会づくりを進めるべきだ	3
17.地域の特性やニーズに応じた医療体制を作り上げていくべきだ	0
18.高齢社会に対応した支援の仕組みを作り上げるべきだ	0
19.障害などに関係なく、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めるべきだ	2
20.安全で快適に暮らせるように、道路や公園、下水道などの生活基盤を整備すべきだ	2
21.地震や水害をはじめ、がけ崩れなどの災害に強いまちづくりを進めるべきだ	5
22.安全で安心して暮らせるよう地域と行政が一体となって防犯や防災に取り組むべきだ	8
23.ボランティアやNPOの活動を活性化させ、よりよい生活環境づくりを進めるべきだ	9
24.地域の連携と交流を活発化させ、住民主体の地域づくりを進めるべきだ	1
25.行政の取り組みにもっと市民の声(意見や提案)市民の参加(活動)を取り入れるべきだ	2
26.行政サービスや情報提供など、便利な情報化社会を作り上げるべきだ	3
27.その他	3

まちづくりの目標

- 『水辺のきれいなごみのない美しいまち』
- 『魅力あるブランドにあふれ、活気あるまち』
- 『心豊かな人が生まれ、歴史と文化が香るまち』
- 『みんなが健康で生きがいをもって生き生きと暮らせるまち』
- 『安全安心で便利に暮らせるまち』



地域別ワークショップニュース

第3回 取り組みを考える...目標の実現に向けたプロジェクト

関心のある目標別にノミネートしてグループに分かれました。
目標の実現に向けて取り組むことは何か、日頃考えているアイデアや現在行っていることをカードに記入し、グループ内で取り組みのアイデアを伝え合いながら、同じような考え方の取り組みをまとめて「プロジェクト」というフレーズでタイトルをつけました。



『いつまでも水と緑あふれる美しいまち』を目指して、
クリーン作戦
資源活用プロジェクト
名所づくりプロジェクト
環境保全プロジェクト



『若者が働き住み続ける活気あるまち』を目指して、
球磨川の笑顔をとりにどそう
坂本町民を大雇用
安心安全な農業づくり
永住できる住まいを！！
商品大作戦



『年をとっても元気で安心して暮らせるまち』
を目指して、
外さん出かける大作戦！
どぎゃんかして止めんばんですプロジェクト！
火番まわり大作戦！



『心豊かな子どもが育つまち』を目指して、
何が何でもこれが大事！
体を鍛える大作戦！
子どもの交流大作戦！
仲間を集めよう大作戦！
親が心豊かになる大作戦！
お金のかからない子育て



『災害に強く安心して暮らせるまち』を目指して、
自主防災大作戦
災害・犯罪を未然に防ごうプロジェクト



『便利に移動できるまち』を目指して、
なんさま道の整備
老後も安心、便利足バスの活用



合併後、新たな八代市としてスタートするため、保健福祉、教育文化、観光や産業の活性化など、全ての分野にわたる八代市の今後のまちづくり全体の基本的な指針となる「総合計画」の策定にあたって、市民生活の実感から考えられた意見を反映していくことを目的にワークショップを開催しました。
今回、3回のワークショップの結果の概要をまとめ、皆さんにお知らせしたいと思います。

地域別ワークショップの構成

第1回

「現状を知る」9月5日(火)
ワークショップの開催趣旨
地域の通知表づくり



第2回

「想いを語る」9月26日(火)
地域の重点課題
まちづくりの目標



第3回

「取り組みを考える」10月17日(火)
目標の実現に向けた取り組み

お問合せ先 八代市企画調整課 電話：33-4111 FAX：32-8944

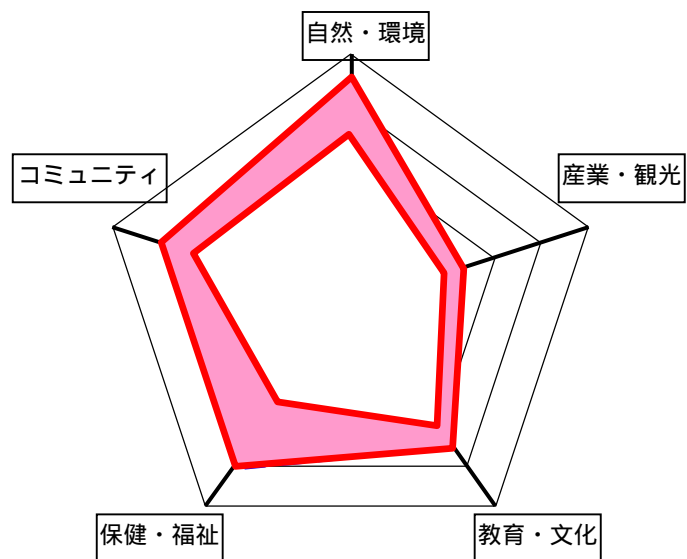
地域別ワークショップや総合計画の検討経過は、ホームページでもお知らせしています。
また、市政に関する意見や提案なども募集していますので、どうぞご覧下さい。

URL：http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/

第1回 現状を知る...地域の通知表づくり

地域の魅力や問題点を知り合うことを目的に、「自然・環境」「産業」「教育・文化」「医療・福祉」「コミュニティ」の5項目を5段階評価しました。

その点数になった理由を「良い点」と「悪い点」で書き分けながら、地域の状況について情報を交換し、改めて地域のこと気づかされました。



「産業・観光」「教育・文化」の評価が低く、大きな課題となっている。

「自然環境」は、水と緑豊かな自然が高く評価されているが、その管理、災害が問題となっている。

○「産業・観光」は、中心となる産業がなく、観光の素材はあるものの十分に活用されていないなど、大きな課題としての認識が高い。

「教育・文化」は、子どもの少なさにプラス・マイナスの両面がそれぞれあるが、地域の伝統行事や文化活動は高い評価を得ている。

「保健・福祉」は、施設が充実し元気な高齢者が多い一方で、医療費負担の増加や福祉サービスの低下、医療機関への不便さが指摘されている。

○「コミュニティ」は、人間関係の希薄化が懸念されているが、地域のつながりの評価は高い。



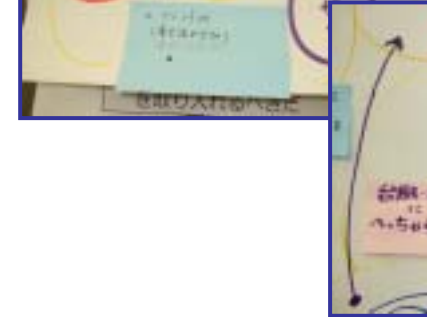
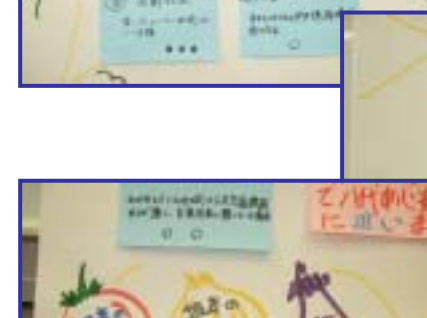
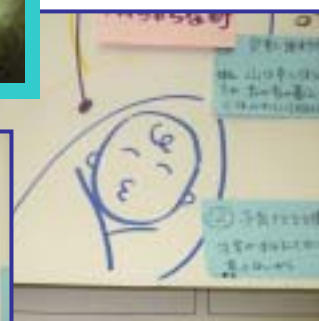
第2回 想いを語る...地域の重点課題とまちづくりの目標

あらかじめ設定した26個の課題から地域の重要な課題3つを選び出し、その理由と共にカードに記入、順番をつけました。個人個人で選んだ3つの重要な課題をグループ内で伝え合い、同じ様な考え方のカードをまとめました。

まとめられた課題をみながら、まちづくりの目標になるようにタイトルづけを行いました。

課題	坂本
1.川や海のきれいな水辺の自然環境を守り育むべきだ	15
2.森林などの豊かな緑の自然環境を守り育むべきだ	9
3.公害の抑制、ごみの減量化など、地球環境に配慮した循環型の社会を形成すべきだ	7
4.農産物のブランド化やツーリズム、地産地消などにより農林水産業を活性化すべきだ	2
5.担い手の育成をはじめ、農林水産業の経営基盤の強化と生産基盤の整備を進めるべきだ	8
6.新幹線や高速道路など、広域交通網を活かした九州の物流拠点を形成すべきだ	0
7.新技術や生産技術の向上により工業を活性化すべきだ	0
8.企業誘致や地場産業の振興などにより雇用の場を創出すべきだ	35
9.魅力と賑わいのある中心市街地、商店街づくりを進めるべきだ	1
10.多様で豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、魅力ある観光振興を進めるべきだ	3
11.道路の整備やバスや鉄道などの公共交通の利便性を高めるべきだ	13
12.家庭、地域、学校が一体となって、子どもたちの豊かな心を育む教育を進めるべきだ	6
13.子どもから高齢者まで誰もが気軽に生涯学習やスポーツを行う場や機会を充実すべきだ	8
14.歴史や文化を大切に守り受け継ぎ、活用すべきだ	0
15.子育てと仕事の両立を支えるなど、安心して子育てできる環境を整えるべきだ	6
16.食育、スポーツなどを通じて、誰もが健康で長生きできる社会づくりを進めるべきだ	0
17.地域の特性やニーズに応じた医療体制を作り上げていくべきだ	4
18.高齢社会に対応した支援の仕組みを作り上げるべきだ	18
19.障害などに関係なく、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めるべきだ	7
20.安全で快適に暮らせるように、道路や公園、下水道などの生活基盤を整備すべきだ	1
21.地震や水害をはじめ、がけ崩れなどの災害に強いまちづくりを進めるべきだ	12
22.安全で安心して暮らせるよう地域と行政が一体となって防犯や防災に取り組むべきだ	6
23.ボランティアやNPOの活動を活発化させ、よりよい生活環境づくりを進めるべきだ	2
24.地域の連携と交流を活発化させ、住民主体の地域づくりを進めるべきだ	6
25.行政の取り組みにもっと市民の声(意見や提案)市民の参加(活動)を取り入れるべきだ	3
26.行政サービスや情報提供など、便利な情報化社会を作り上げるべきだ	0
27.その他	1

まちづくりの目標
 『いつまでも水と緑あふれる美しいまち』
 『若者が働き住み続ける活気あるまち』
 『年をとっても元気で安心して暮らせるまち』
 『心豊かな子どもが育つまち』
 『災害に強く安心して暮らせるまち』
 『便利に移動できるまち』



地域別ワークショップニュース

第3回 取り組みを考える...目標の実現に向けたプロジェクト

関心のある目標別にノミネートしてグループに分かれました。
目標の実現に向けて取り組むことは何か、日頃考えているアイデアや現在行っていることをカードに記入し、グループ内で取り組みのアイデアを伝え合いながら、同じような考え方の取り組みをまとめて「プロジェクト」というフレーズでタイトルをつけました。



『地球にやさしく水と緑を守るまち』
を目指して、
水の再生大作戦
緑を大切にすまちづくりプロジェクト
環境学習プロジェクト
ごみ減量プロジェクト

『人が働き、住み、集まりにぎわいのあるまち』
を目指して、
新産業への期待
日奈久のまちづくり
自慢できる特産物づくり
本町の活性化



『いきいきふれあう明るい未来へつなぐまち』
を目指して、
古きを知ろう大作戦
第2の学校プロジェクト
豊かな心を育む交流プロジェクト
ティーチャーズ、ティーチャー
大人のしつけ大作戦！



『豊かな歴史と文化に誇りがもてるまち』
を目指して、
子どもの感性育成プロジェクト
歴史・文化のネットワークプロジェクト
八代文化発信都市づくりプロジェクト



『いつまでも元気で安心して暮らせるまち』を目指して、
健康プロジェクト ユニバーサルデザイン作戦
空き教室利用作戦プロジェクト
町内みんな楽しい行事プロジェクト
放課後・夏・冬休み子育てプロジェクト！
地域生涯プロジェクト 知っとるもんプロジェクト
うまいもんプロジェクト



『安全で安心して快適に暮らせるまち』を目指して、
連携による安心・安全の確保
地域力を高め、安心安全
地域（校区）安心安全計画
子どもから高齢者まで、安心安全なまちの実現
食の安心安全
行政の役割、ハード整備



合併後、新たな八代市としてスタートするため、保健福祉、教育文化、観光や産業の活性化など、全ての分野にわたる八代市の今後のまちづくり全体の基本的な指針となる「総合計画」の策定にあたって、市民生活の実感から考えられた意見を反映していくことを目的にワークショップを開催しました。

今回、3回のワークショップの結果の概要をまとめ、皆さんにお知らせしたいと思います。

地域別ワークショップの構成

第1回

「現状を知る」9月5日（火）
ワークショップの開催趣旨
地域の通知表づくり



第2回

「想いを語る」9月26日（火）
地域の重点課題
まちづくりの目標



第3回

「取り組みを考える」10月17日（火）
目標の実現に向けた取り組み

お問合せ先 八代市企画調整課 電話：33-4111 FAX：32-8944

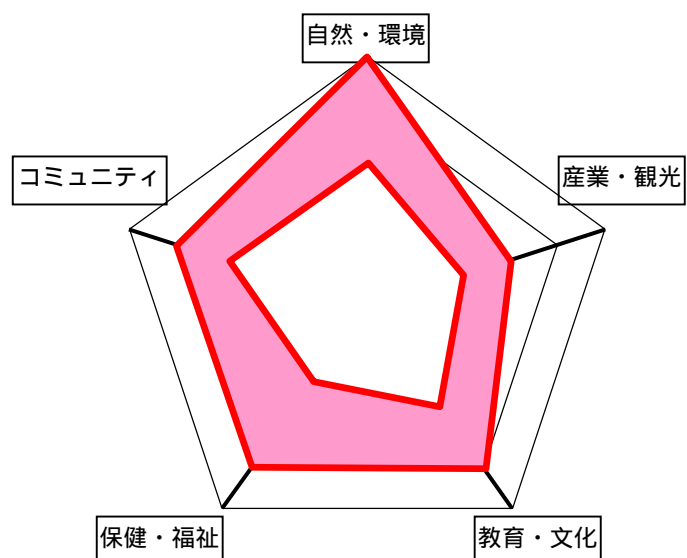
地域別ワークショップや総合計画の検討経過は、ホームページでもお知らせしています。
また、市政に関する意見や提案なども募集していますので、どうぞご覧下さい。

URL：http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/

第1回 現状を知る...地域の通知表づくり

地域の魅力や問題点を知り合うことを目的に、「自然・環境」「産業」「教育・文化」「医療・福祉」「コミュニティ」の5項目を5段階評価しました。

その点数になった理由を「良い点」と「悪い点」で書き分けながら、地域の状況について情報を交換し、改めて地域のことについて気づかされました。



全体として評価が分かれるが、比較的「自然・環境」が高く、「産業・観光」の評価が低い。

「自然・環境」は、山、海、川などの自然に恵まれるが、ごみ問題など環境面での評価が低い。

○「観光・産業」は、企業が立地し、農業もがんばっているが、温泉をはじめせつかくの観光資源を活かしきれず、魅力と賑わいに欠ける。

「教育・文化」は、学校教育や文化活動などに一定の評価はあるものの、歴史や文化に対する市民意識の低さが指摘されている。

「保健・福祉」は、評価に大きな差がみられ、施設的には充実してきているが、利用サービスなどソフト面の充実が強く求められている。

「コミュニティ」は、NPOやボランティア活動が増え始めた反面、地域活動の固定化、地域のつながりの希薄化が問題となっている。



第2回 想いを語る...地域の重点課題とまちづくりの目標

あらかじめ設定した26個の課題から地域の重要な課題3つを選び出し、その理由と共にカードに記入、順番をつけました。個人個人で選んだ3つの重要な課題をグループ内で伝え合い、同じ様な考え方のカードをまとめました。

まとめられた課題をみながら、まちづくりの目標になるようにタイトルづけを行いました。

課題	八代
1.川や海のきれいな水辺の自然環境を守り育てるべきだ	16
2.森林などの豊かな緑の自然環境を守り育てるべきだ	1
3.公害の抑制、ごみの減量化など、地球環境に配慮した循環型の社会を形成すべきだ	13
4.農産物のブランド化やツーリズム、地産地消などにより農林水産業を活性化すべきだ	13
5.担い手の育成をはじめ、農林水産業の経営基盤の強化と生産基盤の整備を進めるべきだ	3
6.新幹線や高速道路など、広域交通網を活かした九州の物流拠点を形成すべきだ	2
7.新技術や生産技術の向上により工業を活性化すべきだ	0
8.企業誘致や地場産業の振興などにより雇用の場を創出すべきだ	21
9.魅力と賑わいのある中心市街地、商店街づくりを進めるべきだ	9
10.多様で豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、魅力ある観光振興を進めるべきだ	3
11.道路の整備やバスや鉄道などの公共交通の利便性を高めるべきだ	1
12.家庭、地域、学校が一体となって、子どもたちの豊かな心を育て教育を進めるべきだ	27
13.子どもから高齢者まで誰もが気軽に生涯学習やスポーツを行う場や機会を充実すべきだ	6
14.歴史や文化を大切に守り受け継ぎ、活用すべきだ	13
15.子育てと仕事の両立を支えるなど、安心して子育てできる環境を整えるべきだ	12
16.食育、スポーツなどを通じて、誰もが健康で長生きできる社会づくりを進めるべきだ	4
17.地域の特性やニーズに応じた医療体制を作り上げていくべきだ	13
18.高齢社会に対応した支援の仕組みを作り上げるべきだ	7
19.障害などに関係なく、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めるべきだ	16
20.安全で快適に暮らせるように、道路や公園、下水道などの生活基盤を整備すべきだ	14
21.地震や水害をはじめ、がけ崩れなどの災害に強いまちづくりを進めるべきだ	2
22.安全で安心して暮らせるよう地域と行政が一体となって防犯や防災に取り組むべきだ	15
23.ボランティアやNPOの活動を活性化させ、よりよい生活環境づくりを進めるべきだ	4
24.地域の連携と交流を活性化させ、住民主体の地域づくりを進めるべきだ	6
25.行政の取り組みにもっと市民の声(意見や提案)市民の参加(活動)を取り入れるべきだ	11
26.行政サービスや情報提供など、便利な情報化社会を作り上げるべきだ	0
27.その他	3

まちづくりの目標
『地球にやさしく水と緑を守るまち』
『人が働き、住み、集まりにぎわいのあるまち』
『いきいきふれあう明るい未来へつなぐまち』
『豊かな歴史と文化に誇りがもてるまち』
『いつまでも元気で安心して暮らせるまち』
『安全で安心して快適に暮らせるまち』



地域別ワークショップニュース

第3回 取り組みを考える...目標の実現に向けたプロジェクト

関心のある目標別にノミネートしてグループに分かれました。
目標の実現に向けて取り組むことは何か、日頃考えているアイデアや現在行っていることをカードに記入し、グループ内で取り組みのアイデアを伝え合いながら、同じような考え方の取り組みをまとめて「プロジェクト」というフレーズでタイトルをつけました。



『自然と共に生きるまち』
を目指して、
泉を知ろうプロジェクト
山を守るプロジェクト
水プロジェクト
ごみプロジェクト



『豊かな自然と産物で春夏秋冬にぎわうまち』
を目指して、
泉のおいさを売るプロジェクト
泉の「ご案内」プロジェクト
誰でも楽にこられるプロジェクト
『泉はまだまだこれからよ!』プロジェクト
泉を知ろう、守ろうプロジェクト
結香さんが(中心に)頑張るプロジェクト



『安心して子どもを生き育て
地域の未来を育むまち』
を目指して、
親は安心 子どもはイキイキ大作戦!
送って迎えて
もうちょい?!かせしてプロジェクト
僕も私も住民だぁー
教えてちょうだいプロジェクト



合併後、新たな八代市としてスタートするため、保健福祉、教育文化、観光や産業の活性化など、全ての分野にわたる八代市の今後のまちづくり全体の基本的な指針となる「総合計画」の策定にあたって、市民生活の実感から考えられた意見を反映していくことを目的にワークショップを開催しました。
今回、3回のワークショップの結果の概要をまとめ、皆さんにお知らせしたいと思います。

地域別ワークショップの構成

- 第1回** 「現状を知る」9月5日(火)
ワークショップの開催趣旨
地域の通知表づくり
- 第2回** 「想いを語る」9月26日(火)
地域の重点課題
まちづくりの目標
- 第3回** 「取り組みを考える」10月17日(火)
目標の実現に向けた取り組み

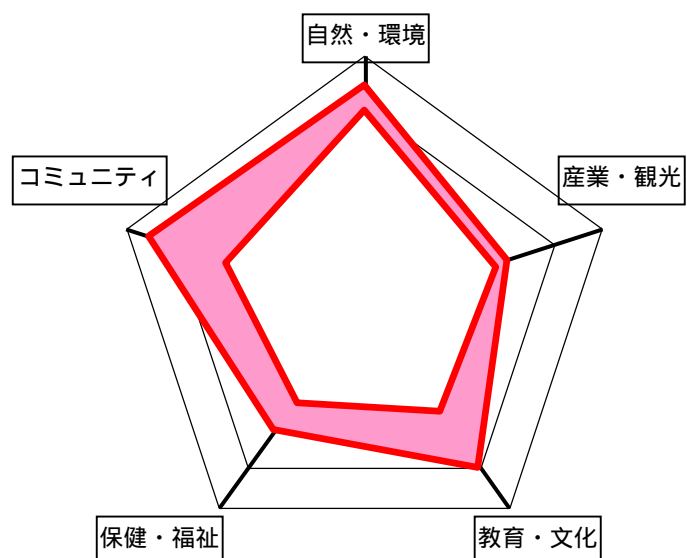


お問合せ先 八代市企画調整課 電話：33-4111 FAX：32-8944
地域別ワークショップや総合計画の検討経過は、ホームページでもお知らせしています。
また、市政に関する意見や提案なども募集していますので、どうぞご覧下さい。
URL：http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/

第1回 現状を知る...地域の通知表づくり

地域の魅力や問題点を知り合うことを目的に、「自然・環境」「産業」「教育・文化」「医療・福祉」「コミュニティ」の5項目を5段階評価しました。

その点数になった理由を「良い点」と「悪い点」で書き分けながら、地域の状況について情報を交換し、改めて地域のことに気づかされました。



「自然・環境」と「コミュニティ」の評価が高く、「産業・観光」や「保健・福祉」で評価が低い。

○「自然・環境」は、以前に比べて川が汚れてきているという指摘があるものの、山、川のきれいな自然に高い評価となっている。

「観光・産業」は、五家荘などの観光資源、農林産物があるものの、全体として低迷しており大きな課題となっている。

「教育・文化」は、子どもが少ないことによる小中学校の統廃合や文化施設の不足はあるものの、子ども達の教育、成長は高い評価を得ている。

○「保健・福祉」も、以前に比べて高齢者施設は充実してきたが、サービスの不十分さや病院への不便さなどが大きな課題となっている。

「コミュニティ」は、つながりの薄れが指摘されているが、地域のつながり交流の評価は高い。



第2回 想いを語る...地域の重点課題とまちづくりの目標

あらかじめ設定した26個の課題から地域の重要な課題3つを選び出し、その理由と共にカードに記入、順番をつけました。個人個人で選んだ3つの重要な課題をグループ内で伝え合い、同じ様な考え方のカードをまとめました。

まとめられた課題をみながら、まちづくりの目標になるようにタイトルづけを行いました。

課題	泉
1.川や海のきれいな水辺の自然環境を守り育むべきだ	10
2.森林などの豊かな緑の自然環境を守り育むべきだ	6
3.公害の抑制、ごみの減量化など、地球環境に配慮した循環型の社会を形成すべきだ	1
4.農産物のブランド化やツーリズム、地産地消などにより農林水産業を活性化すべきだ	5
5.担い手の育成をはじめ、農林水産業の経営基盤の強化と生産基盤の整備を進めるべきだ	0
6.新幹線や高速道路など、広域交通網を活かした九州の物流拠点を形成すべきだ	0
7.新技術や生産技術の向上により工業を活性化すべきだ	0
8.企業誘致や地場産業の振興などにより雇用の場を創出すべきだ	20
9.魅力と賑わいのある中心市街地、商店街づくりを進めるべきだ	0
10.多様で豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、魅力ある観光振興を進めるべきだ	18
11.道路の整備やバスや鉄道などの公共交通の利便性を高めるべきだ	9
12.家庭、地域、学校が一体となって、子どもたちの豊かな心を育む教育を進めるべきだ	10
13.子どもから高齢者まで誰もが気軽に生涯学習やスポーツを行う場や機会を充実すべきだ	2
14.歴史や文化を大切に守り受け継ぎ、活用すべきだ	0
15.子育てと仕事の両立を支えるなど、安心して子育てできる環境を整えるべきだ	13
16.食育、スポーツなどを通じて、誰もが健康で長生きできる社会づくりを進めるべきだ	7
17.地域の特性やニーズに応じた医療体制を作り上げていくべきだ	1
18.高齢社会に対応した支援の仕組みを作り上げるべきだ	8
19.障害などに関係なく、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めるべきだ	0
20.安全で快適に暮らせるように、道路や公園、下水道などの生活基盤を整備すべきだ	8
21.地震や水害をはじめ、がけ崩れなどの災害に強いまちづくりを進めるべきだ	8
22.安全で安心して暮らせるよう地域と行政が一体となって防犯や防災に取り組むべきだ	4
23.ボランティアやNPOの活動を活発化させ、よりよい生活環境づくりを進めるべきだ	0
24.地域の連携と交流を活発化させ、住民主体の地域づくりを進めるべきだ	12
25.行政の取り組みにもっと市民の声(意見や提案)市民の参加(活動)を取り入れるべきだ	3
26.行政サービスや情報提供など、便利な情報化社会を作り上げるべきだ	0
27.その他	0

まちづくりの目標

『自然と共に生きるまち』

『豊かな自然と産物で春夏秋冬にぎわうまち』

『みんなが働け、若者がチャレンジできるまち』

『100才でも元気で安心して住めるまち』

『安心して子どもを産み育て』

『地域の未来を育むまち』

『災害に強く安心して便利に暮らせるまち』



地域別ワークショップニュース

第3回 取り組みを考える...目標の実現に向けたプロジェクト

関心のある目標別にノミネートしてグループに分かれました。
目標の実現に向けて取り組むことは何か、日頃考えているアイデアや現在行っていることをカードに記入し、グループ内で取り組みのアイデアを伝え合いながら、同じような考え方の取り組みをまとめて「プロジェクト」というフレーズでタイトルをつけました。



『若者が働き集まる魅力あるまち』
を目指して、
若者にお・ま・か・せ・大作戦
大作戦東陽の知恵袋大作戦
行政におまかせ大作戦
良かそこ知って住ませちゃう♥プロジェクト

『古き良きものを発信するまち』
を目指して、
情報発信プロジェクト
案内人を探せ!大作戦
広域連携戦略!!
クリーン・クリーン作戦!
発掘あるある探検隊!



『誰もが笑顔で生き活きと
安心して暮らせるまち』
を目指して、
まずは結婚プロジェクト
次は子育てサポートセンタープロジェクト
みんなで交流プロジェクト
最後までみはなさないプロジェクト



合併後、新たな八代市としてスタートするため、保健福祉、教育文化、観光や産業の活性化など、全ての分野にわたる八代市の今後のまちづくり全体の基本的な指針となる「総合計画」の策定にあたって、市民生活の実感から考えられた意見を反映していくことを目的にワークショップを開催しました。

今回、3回のワークショップの結果の概要をまとめ、皆さんにお知らせしたいと思います。

地域別ワークショップの構成

第1回

「現状を知る」9月5日(火)
ワークショップの開催趣旨
地域の通知表づくり

第2回

「想いを語る」9月26日(火)
地域の重点課題
まちづくりの目標

第3回

「取り組みを考える」10月17日(火)
目標の実現に向けた取り組み



お問合せ先 八代市企画調整課 電話：33-4111 FAX：32-8944

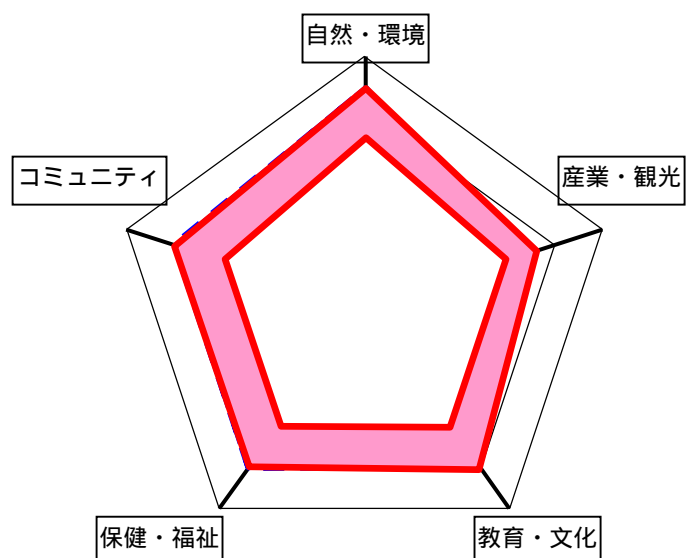
地域別ワークショップや総合計画の検討経過は、ホームページでもお知らせしています。
また、市政に関する意見や提案なども募集していますので、どうぞご覧下さい。

URL：http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/

第1回 現状を知る...地域の通知表づくり

地域の魅力や問題点を知り合うことを目的に、「自然・環境」「産業」「教育・文化」「医療・福祉」「コミュニティ」の5項目を5段階評価しました。

その点数になった理由を「良い点」と「悪い点」で書き分けながら、地域の状況について情報を交換し、改めて地域のことに気づかされました。



全体としてどの項目も平均的に評価が高い。「自然・環境」は、きれいな川や山に恵まれているが、ごみの不法投棄が目立ってきている。

「産業・観光」は、石橋などの歴史資源が豊かで、交流センターなどへの来客もあるが、これといった産業もなく農業の低迷が問題となっている。

「教育・文化」は、学校や地域で子ども達を育み、郷土芸能や文化活動も盛んであるが、文化施設が少なく、成果発表の場の整備が望まれている。

「保健・福祉」は、医療健診や高齢者福祉サービスは充実してきており、子育て環境も含めてさらなる充実が求められている。

「コミュニティ」は、地域のまとまりやつながりが深いのが、若者の地域活動への不参加や協調性のなさが懸念されている。



第2回 想いを語る...地域の重点課題とまちづくりの目標

あらかじめ設定した26個の課題から地域の重要な課題3つを選び出し、その理由と共にカードに記入、順番をつけました。個人個人で選んだ3つの重要な課題をグループ内で伝え合い、同じ様な考え方のカードをまとめました。

まとめられた課題をみながら、まちづくりの目標になるようにタイトルづけを行いました。

課題	東陽
1.川や海のきれいな水辺の自然環境を守り育むべきだ	10
2.森林などの豊かな緑の自然環境を守り育むべきだ	13
3.公害の抑制、ごみの減量化など、地球環境に配慮した循環型の社会を形成すべきだ	3
4.農産物のブランド化やツーリズム、地産地消などにより農林水産業を活性化すべきだ	13
5.担い手の育成をはじめ、農林水産業の経営基盤の強化と生産基盤の整備を進めるべきだ	11
6.新幹線や高速道路など、広域交通網を活かした九州の物流拠点を形成すべきだ	0
7.新技術や生産技術の向上により工業を活性化すべきだ	0
8.企業誘致や地場産業の振興などにより雇用の場を創出すべきだ	11
9.魅力と賑わいのある中心市街地、商店街づくりを進めるべきだ	2
10.多様で豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、魅力ある観光振興を進めるべきだ	4
11.道路の整備やバスや鉄道などの公共交通の利便性を高めるべきだ	4
12.家庭、地域、学校が一体となって、子どもたちの豊かな心を育む教育を進めるべきだ	8
13.子どもから高齢者まで誰もが気軽に生涯学習やスポーツを行う場や機会を充実すべきだ	1
14.歴史や文化を大切に守り受け継ぎ、活用すべきだ	5
15.子育てと仕事の両立を支えるなど、安心して子育てできる環境を整えるべきだ	11
16.食育、スポーツなどを通じて、誰もが健康で長生きできる社会づくりを進めるべきだ	0
17.地域の特性やニーズに応じた医療体制を作り上げていくべきだ	7
18.高齢社会に対応した支援の仕組みを作り上げるべきだ	3
19.障害などに関係なく、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めるべきだ	1
20.安全で快適に暮らせるように、道路や公園、下水道などの生活基盤を整備すべきだ	5
21.地震や水害をはじめ、がけ崩れなどの災害に強いまちづくりを進めるべきだ	0
22.安全で安心して暮らせるよう地域と行政が一体となって防犯や防災に取り組むべきだ	1
23.ボランティアやNPOの活動を活発化させ、よりよい生活環境づくりを進めるべきだ	0
24.地域の連携と交流を活発化させ、住民主体の地域づくりを進めるべきだ	3
25.行政の取り組みにもっと市民の声(意見や提案)市民の参加(活動)を取り入れるべきだ	1
26.行政サービスや情報提供など、便利な情報化社会を作り上げるべきだ	2
27.その他	0

まちづくりの目標
『水、空気、風、緑を大切にすきれいなまち』
『若者が働き集まる魅力あるまち』
『古き良きものを発信するまち』
『誰もが笑顔で生き生きと安心して暮らせるまち』
『便利で安全な暮らしよいまち』



地域別ワークショップニュース

第3回 取り組みを考える...目標の実現に向けたプロジェクト

関心のある目標別にノミネートしてグループに分かれました。
目標の実現に向けて取り組むことは何か、日頃考えているアイデアや現在行っていることをカードに記入し、グループ内で取り組みのアイデアを伝え合いながら、同じような考え方の取り組みをまとめて「プロジェクト」というフレーズでタイトルをつけました。



『クリーンで美しいまち』を目指して、
リーダーづくりプロジェクト
クリーン作戦
ごみゼロ大作戦
花づくりプロジェクト
ごみ循環大作戦

『若者が働き根つき、人が集まるにぎわいのあるまち』
を目指して、
若者雇用大作戦
観光宣伝プロジェクト
子づくり大作戦
すんでみたいまちづくり
元気な商店街



『魅力ある農産物で農業が元気なまち』を目指して、
後継者育成プロジェクト
PR大作戦
新開発プロジェクト
グリーンツーリズム
新しい売り物プロジェクト

『安心して年を重ねられる生き活きと元気なまち』
を目指して、
声かけ、心かけプロジェクト
お年寄り活躍プロジェクト
病気心配いらずプロジェクト
若返りプロジェクト



『心豊かな子どもが育ち輝くまち』を目指して、
かぎっ子0作戦
市長さん！お願い
お父さんかっこいい大作戦
寺子屋大作戦
親育て大作戦
パトロール大作戦

『便利で安全に楽しく暮らせるまち』
を目指して、
マイカー不要プロジェクト
八代大安全プロジェクト
情報充実プロジェクト
快適生活空間プロジェクト



合併後、新たな八代市としてスタートするため、保健福祉、教育文化、観光や産業の活性化など、全ての分野にわたる八代市の今後のまちづくり全体の基本的な指針となる「総合計画」の策定にあたって、市民生活の実感から考えられた意見を反映していくことを目的にワークショップを開催しました。

今回、3回のワークショップの結果の概要をまとめ、皆さんにお知らせしたいと思います。

地域別ワークショップの構成

第1回

「現状を知る」9月5日(火)
ワークショップの開催趣旨
地域の通知表づくり

第2回

「想いを語る」9月26日(火)
地域の重点課題
まちづくりの目標

第3回

「取り組みを考える」10月17日(火)
目標の実現に向けた取り組み



お問合せ先 八代市企画調整課 電話：33-4111 FAX：32-8944

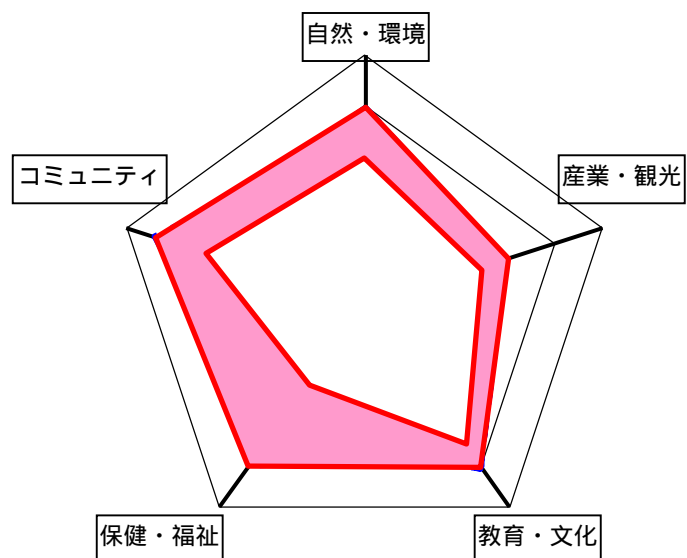
地域別ワークショップや総合計画の検討経過は、ホームページでもお知らせしています。
また、市政に関する意見や提案なども募集していますので、どうぞご覧下さい。

URL：http://www.city.yatsushiro.kumamoto.jp/

第1回 現状を知る...地域の通知表づくり

地域の魅力や問題点を知り合うことを目的に、「自然・環境」「産業」「教育・文化」「医療・福祉」「コミュニティ」の5項目を5段階評価しました。

その点数になった理由を「良い点」と「悪い点」で書き分けながら、地域の状況について情報を交換し、改めて地域のことに気づかされました。



全体としてどの項目も評価は高いが、「保健・福祉」で大きく評価が分かれています。

「自然・環境」は、海や川の自然は豊かであるが、ごみの不法投棄、まとまった緑や大きな公園がない事が指摘されている。

「観光・産業」は、農業を基幹産業に商業・工業がそろってはいるものの、それぞれの産業の低迷が懸念されている。

「教育・文化」は、学校、文化センターをはじめとする施設が充実し、評価は高い。

「保健・福祉」は、施設は充実しているが、サービスのさらなる充実が望まれている。

○「コミュニティ」は、地域のつながりの希薄化が懸念されているが、青年団や老人会をはじめ地域活動が活発である。



第2回 想いを語る...地域の重点課題とまちづくりの目標

あらかじめ設定した26個の課題から地域の重要な課題3つを選び出し、その理由と共にカードに記入、順番をつけました。個人個人で選んだ3つの重要な課題をグループ内で伝え合い、同じ様な考え方のカードをまとめました。

まとめられた課題をみながら、まちづくりの目標になるようにタイトルづけを行いました。

課題	鏡
1.川や海のきれいな水辺の自然環境を守り育てるべきだ	7
2.森林などの豊かな緑の自然環境を守り育てるべきだ	0
3.公害の抑制、ごみの減量化など、地球環境に配慮した循環型の社会を形成すべきだ	6
4.農産物のブランド化やツーリズム、地産地消などにより農林水産業を活性化すべきだ	23
5.担い手の育成をはじめ、農林水産業の経営基盤の強化と生産基盤の整備を進めるべきだ	5
6.新幹線や高速道路など、広域交通網を活かした九州の物流拠点を形成すべきだ	0
7.新技術や生産技術の向上により工業を活性化すべきだ	0
8.企業誘致や地場産業の振興などにより雇用の場を創出すべきだ	20
9.魅力と賑わいのある中心市街地、商店街づくりを進めるべきだ	9
10.多様で豊かな自然・歴史・文化資源を活かし、魅力ある観光振興を進めるべきだ	4
11.道路の整備やバスや鉄道などの公共交通の利便性を高めるべきだ	9
12.家庭、地域、学校が一体となって、子どもたちの豊かな心を育てる教育を進めるべきだ	10
13.子どもから高齢者まで誰もが気軽に生涯学習やスポーツを行う場や機会を充実すべきだ	0
14.歴史や文化を大切に守り受け継ぎ、活用すべきだ	0
15.子育てと仕事の両立を支えるなど、安心して子育てできる環境を整えるべきだ	7
16.食育、スポーツなどを通じて、誰もが健康で長生きできる社会づくりを進めるべきだ	9
17.地域の特性やニーズに応じた医療体制を作り上げていくべきだ	6
18.高齢社会に対応した支援の仕組みを作り上げるべきだ	6
19.障害などに関係なく、誰もがいきいきと暮らせるまちづくりを進めるべきだ	2
20.安全で快適に暮らせるように、道路や公園、下水道などの生活基盤を整備すべきだ	7
21.地震や水害をはじめ、がけ崩れなどの災害に強いまちづくりを進めるべきだ	2
22.安全で安心して暮らせるよう地域と行政が一体となって防犯や防災に取り組むべきだ	1
23.ボランティアやNPOの活動を活性化させ、よりよい生活環境づくりを進めるべきだ	2
24.地域の連携と交流を活性化させ、住民主体の地域づくりを進めるべきだ	4
25.行政の取り組みにもっと市民の声(意見や提案)、市民の参加(活動)を取り入れるべきだ	2
26.行政サービスや情報提供など、便利な情報化社会を作り上げるべきだ	1
27.その他	3

まちづくりの目標
『クリーンで美しいまち』
『若者が働き根つき
人が集まるにぎわいのあるまち』
『魅力ある農産物で農業が元気なまち』
『安心して年を重ねられる
生き活きと元気なまち』
『心豊かな子どもが育ち輝くまち』
『便利で安全に楽しく暮らせるまち』



